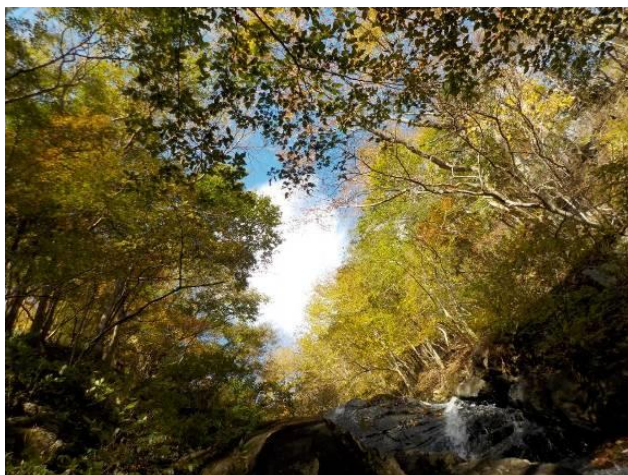


◆日程 2017年11月6日(月)

◆メンバー L：岡村

◆天候 晴れ

10月は雨が続いた。11月、3連休前半は谷川岳へ。有給休暇を調整した私は4連休だった。その最終日(平日月曜日)も晴れると聞くや、出かけたくなる。急遽、須田さんに計画書を送り、季節はずれの葛葉川・沢登り、単独行を決めた。前夜は計画を立てて承認を得るのに時間を充てて早寝、パッキングは当日朝。5時起床だが、家を出たのは7時近く。ラッシュの電車・バスに揺られ(職場の人に会いたくない)、登山口の菩提のバス停に下り立った。バス停から坂を上り、桜沢橋を渡って、表丹沢野外活動センターを過ぎ、左手に水場(葛葉の泉)が見えてくる。そこが入渓点だ。



晴れていて風も穏やか。寒くも暑くもない。水の中をジャブジャブと歩いた。さすがに膝より上は濡らしたくない。結局一度もヒルを見なかった。いくつか小滝を越えていく。形から「おお、なるほど」という感じがする四段ノ滝が現れた。楽しく越えられる。横向きの滝はたぶんこれがそうかと思当を付ける。さらに進み、580mの二股を右に進む。板立ての滝と思われる滝は、水流は細いが、勢いがあってかっこいい。それを越えると曲がり滝とその上に掛かる太平橋が見えた。

太平橋を過ぎたら、枝沢が入ると予想していたが、いずれも涸れ沢だった。富士形の滝が現れ、とにかく簡単そうなところを探して、こっちかあっちか2つに絞って、どっちを行こうかしばらく迷ってから登った。850mの二股を左に入る。この先は水が涸れることが多いが、けっこう水流があった。大滝と思われる滝は2つあって、どっちがそうかわからなかった。そもそも崩れてしまって、大滝は名ばかりらしい。行く手の沢筋がヤブっぽくなった。この辺で左の尾根に上がるはずと見回すと、ケルンがあって、踏み跡があった。それを辿る。地図では100mほど高度を稼げばいいように読めるが、楽な方に進みすぎて、200mほど登ったように思う。

三ノ塔尾根に出て、三ノ塔に上がる。避難小屋のそばに山仕事の人がいて以下の雑談をした。
①三ノ塔山頂にトイレを作っている。
②今年の丹沢は天気が悪くヘリが飛ばず、工期は遅れている。
③年内の予定だったが、完成は年明け。
④三ノ塔へは鍵がかかった秘密のルートがある(たぶん林道のこと)。山頂からの展望は曇ってよくわからず。小屋はしっかりした作りだが、土間で床はない。避難小屋でなく休憩所と表記される所以だろう。大倉へ下った。荻山林道が横切るのが牛首というところで、工事関係のトラックと会った。ここまでは一般車も入れるようだ。洪沢駅でアラ煮がうまい居酒屋「晩頂」に行こうとしたら月曜定休だった。

最後に、秋冬の沢は悪くないかもしれない。水が冷たいのは夏も同じだし、水をかぶらない

ように登れば、こごえることもないのではないか。そして、ヒルがないというだけでも、
すばらしい清潔感(?)がある。

CT : 菩提バス停 9:17—桜沢橋 9:47—葛葉の泉 10:05—四段の滝 10:45—太平橋
11:45—稜線 14:00—三ノ塔 14:16—三ノ塔尾根分岐 14:56—牛首 15:40—
大倉 16:35

(記 : 岡村)